

画：友安よーいち
第95話「虫とり」



ハッシンコバヤシ!!
特設ページ



▲さまざまな取り組みを行っています。詳細はプロジェクトの特設ページ(市ホームページ)をチェック!

心の花びら

空豆やいつものごとく届く朝(小林合歓の会 入佐典子)
 桑の実や少年少女遙かなり(小林合歓の会 青山スミ子)
 体操をテレビに習い梅雨深む(小林合歓の会 後野美美子)
 梔子を術後の母へ添える文(小林合歓の会 今西由美子)
 平和なりポピーの中のにぎりめし(小林合歓の会 尾辻和子)
 薫風やリュック背負いて旅人に(小林合歓の会 大坪由美子)
 衣更えセーラー襟の真白なり(小林合歓の会 小村明子)
 田も畑も山も滴る郷のつゆ(東脇哲郎)
 世の中の様をうつしてかこの頃は
 さつき晴れなくぐずぐずと去く(佐枝記子)
 雨蛙ひときわ大声空も泣く(長友正臣)
 終息みえぬコロナに星空を
 ひとり仰げば夜鳴く鳥も(武ナミ子)
 薬飲み時には忘れ晩酌は一合半で皆勤賞(家村昭文)

SUKU SUKU すくすく



熊ノ迫芽依ちゃん
令和3年7月28日生

めいちゃん!生まれてきてくれてありがとう♡お姉ちゃん大好き♡の甘えん坊!元気いっぱいに育ってね♡
保護者:熊ノ迫修身、美代子



東園誠一くん
令和4年1月5日生

いつも皆を笑顔にしてくれる、せいちゃん。ありがとう。甘えん坊で寂しがり屋さんなところも大好きだよ~!
保護者:東園祐哉、愛美

<編集後記>

今月は公共施設の更新問題について特集しました。私も普段利用している施設について、どのような施設であったら使いやすい施設なのか改めて考えてみたいと思います。(榎田)

小林秀峰高校農業クラブ取材しました。普段牛を近くで見る機会がないので、とても面白い取材になりました。全共の取材に向けて、もっと牛の勉強をしたいと思います。(前原)

小林市立図書館
問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜



図書館利用者カード有効期限について



図書館利用者カードを登録してから3年が経過した方は、カードの更新をお願いします。

更新の際は、住所確認が必要になります。来館時に身分証明書(免許証など)をお持ちください。

ご協力をよろしくお願い致します。

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館

◆開館時間 9時~19時 ※日曜と祝日は17時まで

【須木分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 9時~17時

【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 10時~18時30分 ※日曜は17時まで

毎月1日は館内整理日のため全館(本館・須木・野尻)休館

夏休み子ども応援!

会議室を開放します

小学生の学習スペースとして本館2階大会議室を開放します。

利用の際は、図書館利用者カードが必要です。保護者の方は必ずカードを持たせてください。

課題図書入荷しました

青少年読書感想文全国コンクール、西日本読書感想画コンクールの課題図書を入荷しました。

※課題図書は1人1冊まで、1週間の貸し出しになります



『みんなのためいき図鑑』
作:村上 しいこ
絵:中田 いくみ
発行:童心社

文化の足跡

300歳の石像物の作者
~古の石工、毛利七右衛門~



▲写真上段:毛利七右衛門作の仁王像と石工銘(霧島岑神社)、写真下段:毛利雅楽作の田の神像と石工銘(立野の田の神)

5月号で300歳を迎える石像物を紹介し、これらは全て同じ石工によって造られているという話しをしました。今回はその石工『毛利七右衛門』について紹介します。

毛利七右衛門は、江戸時代の享保年間に活躍した石工で、市内に田の神像や仁王像、水神碑など七右衛門作の石造物が6体現存しています。市外でも都城市やえびの市、高原町、伊佐市などに現存し、特に衣服の表現が立体的で現実味があり、石工として高い技術を持っていたことが見て取れます。

霧島岑神社の仁王像には「勝岡石切七右衛門」と刻銘されており、この「勝岡」は江戸時代島津氏領

諸県郡勝岡郷で、現在の三股町蓼池辺りを指すものと思われます。

前回紹介したように、享保7年には一年で多くの石像を製作していることから、個人ではなく七右衛門を代表とする石工集団が勝岡に存在していたのではと考えられています。

また、七右衛門作の石像物の後のものとされる野尻三ヶ野山の菅原神社神像(延享2年)や南西方の立野の田の神像(年代不明)には、『毛利雅楽』の刻銘が確認できます。子孫・後継者の存在や石工集団としての「毛利」が時代を通して存在したことを証明する資料として、大変興味深いものです。